

- 押入れに寝具類を入れるときは、まわりの壁、床に新聞紙、ダンボールなどを敷き、その上に「スノコ」を置いて、まわりの壁からできるだけ離して入れてください。
- ガスストーブや石油ストーブを過剰に使用しますと、多量の水蒸気が発生し結露の原因となりますので注意してください。
- 洗濯用のお風呂のお湯の溜め置きや、熱帯魚飼育の水槽保温をされますと、多量の水蒸気が発生により結露が発生する原因となりますので注意して下さい。
- 壁がぬれてきた場合は、乾いたタオルなどでふいてください。そのままですと壁の汚れやカビ発生の原因になります。
- カビが発生した場合は、その部分の通風をよくして乾燥させ、ブラシなどでいねいに取り除いてください。
- 結露によるペンキ・クロスの剥がれ、カビの除去等は、ご入居者の負担となります。

7 ダニなどの室内害虫

初夏から秋にかけて、ダニなどの害虫が発生しやすいので、日頃から室内を清潔にし、こまめに掃除をしましょう。

また、発生した場合、各住宅単位での駆除ではあまり効果がないので、棟単位、団地単位で駆除しましょう。

なお、ダニなどの室内害虫の駆除は、入居者負担になっていますので、くれぐれも予防に心がけてください。

- 室内の通気に注意し、常に湿度を低くするようにしてください。
- 畳の上のカーペットなどの敷物は、ダニなどの発生原因になりやすいので、掃除をこまめ

に時間をかけて行い、ときどき畳やカーペットを干してください。

8 電気

▶安全ブレーカー

安全に電気を使用できるよう各戸に安全ブレーカーが設置されています。電気器具などに故障があったり、電気を一定の使用量以上使用したりするとつまみが自動的に下がって電気が切れます。この場合は故障の箇所をなおすか、使用器具の数を減らすかして、つまみを上げて使用してください。

▶電気器具の使用

電気器具は直接コンセントから使用してください。タコ足配線は火災のもとになり、危険ですのでやめてください。

次ページ下表の家庭用電気器具の必要電力(参考値)を目安として、各ブレーカーの安全限度内で電気器具を使用してください。

▶テレビアンテナまたはCATVへの接続

●共視聴アンテナが取り付けである場合

屋上の共視聴アンテナから、各室内またはベランダのテレビ用端子まで配線してありますので、端子とテレビをフィーダー線または同軸ケーブルで接続してください。

●CATV対応となっている場合

ケーブルテレビ用の配線が、各室内のテレビ用端子までしてありますので、端子とテレビを同軸ケーブルで接続してください。

●テラス住宅等、共視聴アンテナ等を取り付け

でない場合

屋上の防水層を損傷したりすることのないよう十分注意して、各自アンテナを設置してください。

▶ルームクーラー(エアコンを含む)の設置

住宅内にルームクーラーを設置する場合、クーラースリーブ(クーラーの専用穴)がある住宅についてはこれを使用してください。

また、クーラースリーブのない住宅については、コンクリートにスリーブ穴を開けることは出来ません(コンクリート内の鉄筋を損傷すると住棟全体の耐震性に影響を与えるおそれがあります。)。サッシの小窓等を利用して、配管を行ってください。

☆工事をする時のご注意☆

器具設置のために設備工事をする場合は、住宅に損傷を与えないようにしてください。

住宅内には見かけ上、木材のように見えるプラスチック製電気配線用カバーのあるものもありますが、壁に埋め込まれたものも増えています。

事故の原因にもなり危険ですから、釘などは絶対に打たないでください。

なお、器具設置に伴いコンセントの増設等が必要になる場合、標準仕様以外の電気配線工事は入居者負担になることをご了承ください。

●家庭用電気器具の必要電力(参考値)

換気扇	200m/m	50(WH)	電気釜	600(WH)	ウインドファン	200(WH)
	150m/m	35(WH)	ジャー	80(WH)	テレビ	60(WH)
電灯	白熱	蛍光灯	冷蔵庫	300(WH)	ラジオ	微少
便所	40(WH)		電子レンジ	1,000(WH)	ステレオ	80(WH)
浴室	40(WH)	10(WH)	クーラー	1,000(WH)	アイロン	400(WH)
洗面	40(WH)	10(WH)	扇風機	60(WH)	掃除機	600(WH)
玄関	40(WH)	10(WH)	コタツ	600(WH)	時計	微少
和室		60(WH)				

※ なお、必要電力については、製造メーカー及び機種によって異なりますので、製造メーカーのカタログなどを参考にしてください。また、表に記載のない器具についても製造メーカーのカタログなどを参照してください。